

# 広島国際学院広報

広島国際学院大学・広島国際学院大学自動車短期大学部・広島国際学院高等学校

発行者：学校法人 広島国際学院 〒739-0321 広島市安芸区中野6丁目20-1 (082)820-2345  
〔ホームページアドレス〕http://www.hkg.ac.jp



- 笑顔がいっぱいあつまる -

写真 = 広島国際学院高等学校



## 目次

新たな国際交流の推進 ..... 1

「特集」広がる! 異文化交流 本校の国際交流の歩み ..... 2・3

学長引継ぎパーティー ..... 4

合同入学宣誓式 ..... 4

電子工学科主任就任にあたって ..... 4

行事の数だけ見つかる感動 - 良い仲間と良い時間を - ..... 5

地域の教育交流 地域共同教育研究センター ..... 6

仕事に充実感がもてる! ..... 6

留学生の「祖文芸」さんに聞く ..... 7

私の大学生活 ..... 7

ようこそ 新任教職員紹介 ..... 8

じっくりと、自らの道を求め目標をたてよう 工学部 ..... 9

情報通信技術の発展は社会生活をどのよう  
に变えるのか!? 現代社会学部 ..... 10

自らを律し努力を続ける! 自動車短期大学部 ..... 11

高校から発信 ..... 12

研究室紹介 ..... 13

大学後援会総会を開催 ..... 14

短期大学部後援会総会を開く ..... 14

あれはいったい何だろう!? ..... 15

素晴らしい「書の寄贈」を受ける ..... 15

就職率100% ..... 16

本学が独自テレビ番組を制作 ..... 16

芸予地震のお見舞と被害状況 ..... 16



## 新たな国際交流の推進

広島国際学院高等学校長 <sup>つる</sup> 鶴 <sup>い</sup> 井 <sup>ひで</sup> 淑 <sup>ひろ</sup> 弘

「私はホームステイで多くのことを学びました。オーストラリアの人々の前向きな姿勢、自分の考えをしっかりと持ち、違う習慣や考えを認めるなど、これからの私に必要なことばかりでした」

柔軟性に富み、将来に大きな可能性を秘めた若者が、短期とはいえ海外で生活することは、彼ら自身にとって異文化理解を深め、国際的視野を涵養する貴重な体験になっている。

姉妹校との国際交流も今年で7年目を迎えるが、相互の生徒達が違いを認めながら親しく接し、交流を深めている様子にその成果をみる思いがする。

本校では、国際理解教育を目標に実践をすすめているが、誰でも理解できる国際交流から始め、そこから起こる問題の全体を、国際理解教育の問題として捉えてきた。

そのため、常に外国人が校内にいる状況をつくりだす必要があると考え、平成11年度から年間留学生の受け入れを始めた。

また、平成7年度にはオーストラリアのヴィクトリア州の公立学校と姉妹校提携し、毎年相互交流をすすめている。本校生徒も交流によって国際的視野がひらかれ、留学を志す者も出てきた。こうした成果を踏まえつつ、今後、新たな国際交流を推進し、その実践を積み重ねて国際社会に生きる人間として望ましい能力や態度の育成を図っていききたい。

# 特集

## 広がる！ 異文化交流 本校の国際交流の歩み 広島国際学院高等学校

### 姉妹校提携に調印 Grovedale Secondary College(オーストラリア)



1995年から始まったホームステイから更に国際交流を発展させるために、姉妹校提携をすることになった。

姉妹校は、オーストラリアのグローブディール・セカンダリー・カレッジである。

1997年に、相互の文化の理解と認識を深め、教育活動等の分野における交流を促進することを願って調印された。

### 長期留学生を受け入れる = 修学旅行も楽しく一緒に =



1999年度から長期の留学生を受け入れている。いままでに3名の留学生が本校で1年間勉強した。

オーストラリアからはマイペースなヒュー君と陽気なエディさん。ニュージーランドから来たローリーさんは、医者になることを目標にしていた。

いろんなタイプの留学生は、授業やクラブ活動で生徒達と交流を深めると共に、日本での高校生活を満喫していた。



### グローブディール・セカンダリー・カレッジの紹介

メルボルンの南西約100kmの町にあるグローブディール・セカンダリー・カレッジ。全校生徒約1000名。中高一貫教育の公立学校。本校と同様に工業科と普通科を併設している。生徒は、日本語かインドネシア語を選択している。現地の季節は日本とは反対ではあるが、冬でも気温は15℃近くまで上がり過ごしやすい地域である。

### オーストラリアへホームステイ = 毎年夏休みに、姉妹校訪問 =

毎年、夏休みを利用してオーストラリア姉妹校訪問プログラムを実施している。希望者を募り、2週間の日程(当初は3週間)



でホームステイし、語学研修や交流を行っている。現地では、日本語クラスで同世代の生徒との交流や小学校訪問などを行う。



またメルボルン市内見学、オーストラリアならではの動物の見学、ゴールドラッシュ時代の町を体験する砂金すくいや金鉱跡の見学なども入った、楽しいプログラムになっている。



## 姉妹校から2度の本校来訪 ＝2年に一度の定期訪問＝



盛り上がるサヨナラパーティー



姉妹校からの本校への来訪は、2年に一度行われる。

1998年に初めての来校があった。20数名を初めて迎え入れるということで、その準備はあたふたとしたものであった。

なかなか進まないホームステイの受入家庭の募集や受入態勢、慣れないことでの戸惑い。しかし、結果は大成功であった。彼らがプロ級だと評価した吹奏楽部の演奏で始まった

体育館での歓迎式。書道や調理、茶道などの本校生徒と一緒にの授業。生徒達と共に行った市内観光、日本の家庭の暖かさを感じたホームステイ、別れを惜しんだサヨナラパーティーと思い出多いものとなった。



2度目の訪問  
2000.10



いままでの本校の修学旅行は、シンガポールや韓国といった海外、または北海道や沖縄などの国内と、年度によってことなっていた。2000年度からは、①シンガポール・マレーシア ②韓国 ③北海道 ④沖縄の4コースから自分で選択するという分散型の修学旅行へと発展していった。

## シンガポール・韓国への修学旅行 ＝個人希望による分散型旅行＝



## 英会話授業は、 外国人教師で！

本校では、英会話（オーラルコミュニケーション）の授業は、3人の外国人教師によって行われている。生きた英会話を通して、異文化にも触れる教育を目指している。



大学



# は さ い ひろ み 新学長に葉佐井博巳氏

## 学長引継ぎパーティー

去る4月5日(木)、本学の学長交替行事がホテルグランヴィア広島において盛大かつ厳粛に挙行された。4年ぶりのことである。

紀学長の任期満了に伴ない、葉佐井博巳工学部長が新学長に選出された。式には招待者をはじめ

関係者約180名が参加した。紀学長ご夫妻の御苦勞をねぎらい、西本理事長から謝辞が述べられた。伝統ある学旗が第6代紀学長から第7代葉佐井学長に手渡されると大きな拍手が起こり、和やかな歓談がくり広げられた。



# 自分が何を求め何をすべきか 自らに問う大学生生活に!

春のさわやかな好天に恵まれた去る4月5日(木)、平成13年度合同入学宣誓式が中野キャンパス体育館で行われた。広島国際学院大学としては、3回目を迎えた。

今年の入学者は、大学院工学研究科博士課程(第3回)2名、修士課程(第6回)23名と、工学部(第35回)362名、現代社会学部(第3回)100名、自動車短期大学部(第38回)160名の計647名。


新入生を迎え、葉佐井博巳学長が入学許可宣言し「大学生としての自覚と、未知の世界へ挑戦する精神を忘れないよう」と式辞をのべた。葉佐井学長の式辞を受け、入学者を代表した3名の学生が力強く宣誓した。式場には来賓、保護者、教職員の参列者が1000名を越えた。

西本五郎理事長から「30有余年の伝統を大切に思い、更に新しい息吹きを」と励ましの言葉があった。続いて来賓を代表して、山田利明氏より祝辞を受けた。この後、新入生たちは各学部ごとに分かれて交流した。満開の桜の下で元気な笑顔があふれていた。翌日から1泊2日のオリエンテーションキャンプで、大学生生活のスタートを切った。



「電子工学科主任就任にあたって」

電子工学科主任 松尾邦昭 まつおくにあき



この度、前任者である金持主任教授の突然のご都合により、私が電子工学科主任に命ぜられました。科の主任に就任してからは、大学に入学した学生に付加価値を付けて社会に送り出すこと、丁寧な個人指導、そのための授業、資格の取得などが大切だと思います。

電子工学科には有能な先生方が多く、皆さんが気持ちよく仕事をできるような、私持ちは科の世話役に徹したいと考えております。

現在、電子工学科では科名を変更しようとしております。21世紀のデジタル革命に対応し、未来の情報通信社会をリードするべく、「新しい科名を」メディア情報通信学科」としました。この困難な時期をなんとか乗り越えるために、科内の諸先生方と共に頑張っていきたいと思っております。

# 行事の数だけ見つかる感動

～良い仲間と良い時間を～



まず食べることから仲良くなれる!

## オリエンテーション

このセミナーは大学の現状、授業内容、学友会組織など大学生活における疑問・問題点を「新入生と教員」「新入生と先輩」とで話し合い、学内の団結と協同性を養うとともに、相互の親睦を深めることを目的としています。企画・実行は学友会を中心とした先輩たちが行いました。

1日目は午前8時に広島駅に集合し、バス15台に分乗して弥勒の里に移動しました。昼食後、午後より開会式を行い、各学科に分かれての分科会を実施。先生方から学科等の説明があり、質問会も行いました。慣れないこともあり、新入生は緊張気味?

2日目はグラウンドに集合し、レクリエーション大会を実施。クイズ・ビンゴ・むかで競走・縄飛び・ドッジボールをしました。先生方も参加され、新入生と一緒に汗を流されました。先輩たちのすばらしい司会・進行もあり、大いに盛り上がりました。

閉会式後バスに分乗して弥勒の里をあとにし、帰路につきました。

4月6・7日の2日間にわたって、広島県沼隈町にある弥勒の里で新入生を迎えるオリエンテーションを開催しました。参加者は新入生447名、先輩110名、教職員31名の総勢588名です。

学友会体育局では、交流と体力づくりをねらい例年5月をスポーツ月間としてソフトボール・マラソン・ボウリングの大会を行っています



ホームランバッターの構え!?

## ソフトボール大会

5月13日(日)上瀬野キャンパス陸上競技場において、学友会体育局主催のソフトボール大会が行われました。参加チーム数は、8チーム。2コートを使ったの総当り戦を行いました。炎天下の中、若さ溢れるプレーが随所で見られ、好プレー、珍プレーもあり熱戦が展開されました。

試合結果

- 優勝 現社チーム
- 2位 健次郎チーム
- 3位 アナルアジアンチーム

## マラソン大会



力走が続く 頑張れー

5月20日(日)中野キャンパス・グラウンドをスタート・ゴールとする学長杯マラソン大会が実施されました。今大会は、マラソンの部およびサークル駅伝の部に分かれ健脚を競いました。

マラソンの部はコース約10km、40名が参加しました。また、駅伝の部はコース約10kmを3人でリレー、30チーム90名が参加しました。

炎天下の上、湿度も高い中での競技となり、怪我等が心配されましたが全員無事完走しました。

なお、表彰は7月7日(土)のクロウジングフェスティバルで行います。

## ボウリング大会



投げて見なけりゃー

5月27日(日)五日市ファイブスターでボウリング大会を実施しました。

この大会は、本学学生にとどまらず、他大学の学生との親睦を深める目的もあり、広く参加を呼びかけ、66名で楽しみました。

男女ペアを組み、2ゲームのトータルスコアで競い合い、上位3チームとブリーに賞品を贈呈しました。例年に比べ参加者は少なかったのですが、どのレーンも大変盛り上がり、楽しく競技しました。「とても楽しかった」「来年もぜひ参加したい」という声も聞かれました。

来年も開催する予定ですので、皆さんもぜひ参加してみてください。

## 地域の教育交流



「水と健康」= 講座

### 公民館活動の講師を務める

中野学区老人クラブ連合会および広島市中野公民館と共催の「まめでがらす講座」で、去る11月27日(月)工学部共通基礎講座の佐々木健教授が講師を務めた。

スライドを使いながら「水と健康」と題して、銘水が環境と健康にいかに関わっているかについて、研究実践活動をもとに講演した。

2時間の講演で、この居住地の水が銘水としていかに高水準を保っているか。瀬野川流域の環境に関して例えば、にしき堂もみじまんじゅうの「餡」は海田工場でしか製造できない「からくり」。広島名物お好み焼きは、軟水でないあの薄いカワは作れない秘密。武家茶道上田宗箇流の、一服のお茶をおいしく点てるために必要な井戸の話、

## 「まめでがらす講座」

### 講師の出前 地域共同教育研究センター

身近で面白く聞けた。

吉和の里では数年前からわさびを栽培し、名産品にまで成育させている。わさびの風味を損なわず、香り高い品質に育てるまでの思考錯誤の苦労話はまさに「水」との関わりが重要である。それは酒造りにも共通することである。「手間暇かけて良いモノを」製造することは、環境や健康にも通じると力説した。

また、金魚や鯉の鮮やかな色は水との因果関係が深い。爛れておいしい酒造りのための水環境は、日本の自然林と関わりがある。銘水は「緑のダム-調和のとれた植林」から生まれる。おいしい水を求めることは健康にも良い。それが「良い環境」を求めることと言える。

さらに、直接体に良いとする「水」のこともふれた。たとえば石灰岩を含む水は脳卒中をおこしにくく、ラドンを含む水は整腸作用がある。浄水器は取りつければ良いのではなく、それを正しく見分ける方法など多岐にわたる。私たちが生活廃水を川に流していたのでは「水」は守れず、秩序ある植林を怠っても「水」は守れない。

総合的環境問題解決とは、我々生活人の小さな問題意識の結集と努力の成果と言いかえることができるのではないだろうか、と結んで受講者の興味・関心に応えた。

## 仕事に充実感がもてる!

電子工学科平成9年度卒業 <sup>たか</sup>高 <sup>の</sup>堅 <sup>かつ</sup>克 <sup>み</sup>海

- コンピュータ操作をしっかりと勉強しておくで得 -

平成10年に本学を卒業し、広島建設工業(株) - 現在は株式会社ソルコム - に入社、将来に希望を持って勤務をしています。株式会社ソルコムはNTTインフラ設備を中心に工事をする会社です。従業員1764名、年商651億円、中国管内に多くの支店、営業所を持っています。私の所属している営業本部は、一般営業、公共工事、NTTインフラ以外の工事を担当し、幅広い営業活動が要求されるため日々勉強の毎日です。

入社以来4年を経過し、マルチメディア関連を中心に営業活動に取り組んでいます。最近では、協力会社に対する施工計画の策定、デベロッパーに対するマンションのインテリジェント化の提案活動等を担当しております。

企画提案活動では顧客ニーズと利益の確保のかねあいで相反する対応を要求されます。大変ではありませんが、受注出来た時の充実感はひとしおです。

また、日々の業務でパソコンを利用することがとても多く、社内の文書はもちろん、お客様へ提出する資料などもほとんどパソコンを使い作成しています。後輩の皆様にはコンピュータの操作ができるよう学生のうちに勉強しておくことをお勧めします。



“卒業生職場でキラリ”

# 留学生の「<sup>そぶんげ</sup>祖文芸」さんに聞く

Part 2

## － 中国から1999年4月9日に来日



第45号に続きインタビューを紹介します

- 日本での「暮らし」をお話しくさいますか？ -

日常生活の会話で難しい言葉に困ります。そのため勉強が遅れ、単位をとれるか心配です。お金がたくさんいるので、アルバイトを毎日4時間くらいしています。刺身が好きで、日本の料理はなんでも食べます。中華料理を作ることは好きです。

- 日本に留学して日本で就職する人は多いですか？ -

帰国して就職する人の方が多いと思います。私は中国と日本の両方に関係する企業で働きたいと思っています。

- 「広島国際学院大学」を選んだ理由と入学後の感想は？ -

留学生を対象とした説明会で、学生部の先生にお会いし親切で丁寧な説明を受けて決定しました。一流校ではないですが、先生が皆親切でやさし

いので安心です。皆さんに感謝しています。やる気では負けないと思っています。

授業のこと、特に単語をもっと詳しく説明してほしいです。数学・物理の授業の単位をしっかりとりたいです。

中国語の大学案内と「中国」での説明会・入学試験があったらよいと思います。アルバイトに時間を取られ、勉強時間がたりないので奨学金などの支援を大きくしてほしいです。

- 将来の夢は？ -

まだよく分かりませんが、しっかり勉強して世の中の役に立つ人間になりたいし、たくさん欲しいものもあります。

「しっかり自分を鍛えて自立することを目指します」とさわやかな笑顔で答える祖文芸さんが、いっそう健康で精進されることを期待しています。



# 私の大学生活

現代社会学部3年生  
吉井由祈子



## 私の学部は職業選択肢が多く就職に有利

社会学の勉強は人間関係、社会のしくみなど、自らの日常生活に関わる問題について調べ、問題解決の道を探る学問なので、私自身授業に興味を持って、楽しく勉強しています。


2年生での社会学基礎ゼミナルでは、自分が福祉関係のボランティア活動をしていることもあって、目黒先生のゼミを選択しました。ゼミでは自分の興味のあることについて調査し、発表します。この調査をする上で、先生にアドバイスを受けつつ、インターネットや文献による調査法を勉強し、レポートにまとめます。また仲間と議論する上で自分の考えを論理的に説明する力を身につけました。自らの考えを相手に説明できることは、社会人になって、とても重要なことだと思います。さらにレポート作成、インターネット調査でパソコンをよく使うようになり、次第に興味が出て、パソコンの資格にもチャレンジしました。

今年3年生です。就職活動が近づいてきました。他の学部なら学部によって職種が決まってくると思います。私の学部はどんな職業にも適しているの、選択肢が多くその点は有利だと思います。まだわかりませんが、今のところ私は学校での勉強を生かし、社会現象の分析をする洞察力をつけ、調査などをもとに商品開発関係の仕事をしたいと思っています。




ゼミの目黒先生と

# ようこそ 新任教職員紹介(敬称略)




ひとつだけでいいです。自分が完全燃焼できるものを発見してください。  
(専攻: 西洋大学・高等教育史)

工学部  
共通基礎講座教授  
**池端次郎**  
(いけはた じろう)




研究分野は運動方法学で、いろいろなスポーツ動作を「効率的に上手に行う」ことができるように、多方面から解析しています。体育館の2階にいますので気軽に遊びにきてください。  
(専攻: 保健体育)

工学部  
共通基礎講座講師  
**入澤雅典**  
(いりさわ まさのり)




知識とは、唯一、富の永遠なる形態です。そして、君たちの大学生活はより多くの知識を身につけ、自分を豊かにする機会です。この機会を賢く利用してください。  
(専攻: 比較文学)

工学部  
共通基礎講座講師  
**デビット ミッチェル**




母校である本大学に帰ってくる事が出来て、本当に喜んでおります。親身になって学生と向かい合っていきたいと思っております。まだ分からないことばかりですので、ご指導よろしくお願いたします。  
(専攻: 分光計測)

工学部  
電気工学科講師  
**渡邊真彦**  
(わたなべ まさひこ)




誤解を恐れずに言えば、ある種の「いいかげんさ」が存在することが大学の大学たるゆえんであると、わたしは信じています。  
(専攻: 組織社会学)

現代社会学部教授  
**高橋三郎**  
(たかはし さぶろう)




4月に奈良から赴任してきました中川です。大勢の男子学生を相手に教えるのは初めてですが、一日も早く皆さんと仲良くなって広島生活をエンジョイしたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。  
(専攻: 生活文化)

現代社会学部教授  
**中川早苗**  
(なかがわ さなえ)




私はいわゆる「団塊の世代」、兄弟は3人、中学校では12クラス、日本の経済成長の中で働き、これからは高齢化社会の担い手になるわけです。ちょうど、学生の親の世代にあたりますが、果たしてどんな夢を残せるのか。  
(専攻: マーケティング論)

現代社会学部教授  
**大橋正房**  
(おはし まさふさ)




着任して、学生の皆さんの性格がいいのが印象的でした。現代社会学部は全国でも有数の社会学部と認知される潜在力のある学部です。微力ですが、よく学び、よく遊ぶ、闊達な気風の大学づくりのお役に立てればと思います。  
(専攻: 産業社会学)

現代社会学部教授  
**澤田善太郎**  
(さわだ ぜんたろう)




教員に論文数や人気投票、営業などの競争原理を導入するだけでは、学生は集まらないし、社会にも貢献できないと思います。教員と職員、学生、地域社会が協力して新しい大学を創る立場に立たなければならぬでしょう。  
(専攻: 地域生活論)

現代社会学部助教授  
**池本良教**  
(いけもと よしのり)




自動車好きの若者が社会人・職業人として自立する活動に、今までの自動車業界での知識や経験を生かすことができ、尚且つ、一緒に成長する機会が与えられたことを感謝し、大いに楽しみたい。  
(専攻: 原動機)

自動車短期大学部教授  
**廣瀬裕**  
(ひろせ ゆたか)




亀井勝一郎が「現代人生論」の中で、人生とは邂逅であると述べています。新しい環境のもとで多くの先生方や生徒達との出会いを大切に、微力ながらも学院発展のお手伝いが出来ればと思っています。

高等学校教諭(数学)  
**平野弘幸**  
(ひらの ひろゆき)




私にとっての母校でもある高校で教鞭をとって、今年で8年目となりましたが、まだまだ新米の域を脱したとはいえない状況です。何事にも全力で精進していきますのでご指導のほどよろしくお願い致します。

高等学校教諭(社会・国語)  
**市川豊**  
(いちかわ ゆたか)




初心・前進そして夢=実現に向け、生徒とともに一生懸命がんばりますので、今まで同様のご指導・ご鞭撻の程を何卒よろしくお願いたします。

高等学校教諭(保健体育)  
**長延公平**  
(ながのぶ こうへい)




教師になろうと思ったときの初心を忘れずに「向上心」を持ち続けて行きたいと思えます。一人でも多くの生徒に「歴史って面白いんだなあ」と思っていただけのような授業をめざして日々がんばっています。

高等学校教諭(社会)  
**山瀬勝彦**  
(やませ かつひこ)



私は現代社会学部就職課の一員として着任しました。前職マツダ(株)にて製造、人事領域を経験。本学においては若者と触れ合いながら、就職活動のサポート役として頑張る所存です。よろしくお願いたします。


就職部  
現代社会学部 就職係長  
**藤本勝也**  
(ふじもと かつや)



学生課に勤務しております。本学のために自分に求められた期待に応えられるように頑張りたいです。色々戸惑うことが多いですが、よろしくお願いたします。

学生部学生課事務職員  
**辻岡正彦**  
(つじあか まさひこ)

- 時代を先どりする学院づくりに -  
「共感と決意」新たに、手をたずさえて!







資格講習会で実力アップ! 電気主任技術者講習会

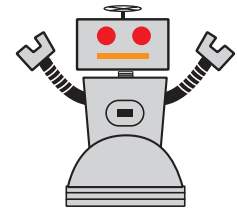


じゅくじゅくと、自らの道を求め  
目標をたてよう“

## ● 工学部講習会あれこれ

いよいよ資格試験のシーズン 工学部でもいろいろな講習会が行われている

<p>情報関連資格(初級シスアド・基本情報技術者)講座</p> <p>情報関連資格講座を、工学部共通基礎講座の専任教員が全学部対象に開催している。特に情報工学科以外からの参加者が多く、10月の試験に向けて猛勉強中である。夏には集中講義、9月には模擬試験を予定している。</p>	<p>シスコネットワーク技術者講座</p> <p>情報工学科では、シスコネットワーク技術者認定資格であるCCNA資格対策講義が放課後毎日行われ、すでに合格者を出している。夏休みには「基本情報技術者」試験の「午後の部」の対策講習会も行う予定である。</p>	<p>第三種電気主任技術者試験(電験三種)のための講習会</p> <p>電気工学科主催で、5月12日(土)から毎週土曜日に計15回の講習会が行われている。今年で2回目となり、電気工学科の学生を中心に受講している。</p>
<p>第二種電気工事士試験のための講習会</p> <p>「筆記試験」対策の講習会が4月から6月まで、「技能試験」対策の実技講習会が6月から7月まで計21回行われている。第一種の講習会も9月に開催される予定である。</p>	<p>デジタル種・二種技術者のための講習会</p> <p>電子工学科主催で、情報通信技術者向けの国家資格「工事担任者」の試験に向けて、5月26日(土)から11月10日(土)まで計20回の講習会が実施されている。</p>	<p>本学がCAD利用技術者試験の試験場に</p> <p>広島地区の他大学に先駆けて本学が、「CAD利用技術者試験」の本会場として認定された。主に機械工学科の学生が受験する。6月と11月に実施される予定である。機械工学科では受験生を積極的に支援している。</p>



## “あれをしよう、これをしよう”という自分探し=

=ロボットコンテスト=



## ● ちょっとー!動いてくれよー 情報工学科

情報工学基礎実験では、ものづくりの楽しさを体験するために、デジタル・アナログのハードウェアのことからロボット制御のプログラミングまで、情報技術の基礎的なことを学ぶことができる。実験の最後には、製作したロボットでコンテストを行っている。

## ● オープンセミナーを開く 電子工学科

本学科では、本年度より「オープンセミナー」を実施する。平成14年度より開設される予定の「メディア情報通信学科」の学科イメージを、広島県下の高校生に広く認識してもらうためである。毎月1度、第二土曜日をこの日に当てている。10名の専任教員がそれぞれ自分の専門に近い分野に関して、やさしく解りやすく講演・実験・実習等をする。

本学科ではなるべく多くの高校生の参加を呼びかけている。

## 私の国際交流 電気工学科2年 久保 亨

私は2000年の夏に、スポーツ少年団の国際交流でドイツへ行ってきました。期末試験と重なっていたのですが、諸先生方の支援をいただいて行くことができました。ドイツではホームステイを経験し、大会では「若者のライフスタイル」というテーマで同じ年代の若者とディスカッションなどをしました。日本と多くの違いがあることを知り、とても勉強になりました。今年の夏にはドイツの友達が日本に来るということで、今から胸が高鳴っています。



英語によるコミュニケーション能力  
 情報リテラシー能力と  
**現代社会学部**

情報通信技術の発展は  
 社会生活をどのように変えるのか!?



熱心な受講者の顔

公開市民講座 2001年春季のシリーズ

情報化社会とコミュニケーション

テーマと趣旨

2001年春の公開講座は、上記のテーマで開催された。

情報通信技術が飛躍的に発達した今日では、遠くの人と瞬時に情報をやり取りすることができるようになった。しかし、その一方で、多くの情報を集めようとして、自分にとって本当に必要な情報を見失っているのではないかと不安を感じたり、ネットワーク上でたくさんの人と意見交換をしても、どこかで孤独を感じている人もいる。そうしたなかで、情報技術の発達が社会生活にどのような変化をもたらしてきたのか、また今後もたらすのか、それにどのように対応すべきかを考える必要はますます高まっている。

講師と題名

小林正義氏(日本宗教文化史学会理事長、本学非常勤講師)を特別講師にお迎えし、下記のような構成で講座が用意された。

- 新 睦人 5月14日(月)「情報社会とIT革命」
- 磯部卓三 5月17日(木)「体験知と情報知の再編～豊かな人間関係のために」
- 谷口重徳 5月24日(木)「情報社会の中の親しさと孤独」
- 田崎峯男 5月31日(木)「メディア・リテラシーを学ぶ」
- 小林正義 6月11日(月)「日本の近代化と郵便」

参加者からの反響

どの講義でも、質疑応答が活発だったようで、講義がよい反応を引き起こしたものと思われる。アンケートでは、面白かった、ためになった、という回答が多かった。具体的には、IT革命のメリットやデメリットがよく分かった、メディア・リテラシーの大切さがよく理解できた、郵便の130年の歴史に学ぶところが多かった、若者の行動がよりよく理解できるようになった、などと多様であるが、情報化とわれわれの生活とのかかわりについての理解が深まったということで今回の講座の意義が認められたといえる。

“聴かせた”現社祭!

学生文化の育たない大学は大学とはいえない。その意味で、今回の現社祭は学部設立3年目にして学生文化が育ってきていることを実感させたイベントであった。

5月25日(金)に、上瀬野キャンパスで学友会文化局サークル・音遊主催の『現社祭序章』が開かれた。現代社会学部初の本格的な学生主催のイベントである。前日から同じく文化局のVODによる会場設営が行われた。音遊に所属するバンドのライブ、現在路上ライブを繰り広げているY&Gのライブ、強豪ぞろいのカラオケ大会と、個性と才能が発揮された催しとなった。また、文化局から今後も現代社会学部にたくさんのサークルができるようにと、サークル申請の手続きの説明もなされた。

学生文化といえば、学生が生きている今を感じながら、学問では表現し尽くせない自分を探す重要なサブカルチャーであり、大学生活というメインストリームを補強し充実させるものだ。今回聴衆をうならせた声の数々は普段の講義や大学生活からは見られない、また別の本当の一面である。今後もキャンパスでさまざまな自分を探す場として、学生主体の活動を育んでいく現代社会学部でありたい。



実力派Y&Gのライブ

短期  
大学部

# 自らを律し努力を続ける！



短  
大

## 自動車整備士国家試験 99.2%の合格率を達成

- 全国トップレベル -

3月25日(日) 自動車整備士では最高位の資格の一つ、2級ガソリン自動車整備士の国家試験が行われた。

短期大学部卒業の122名が受験し、そのうち121名が合格、過去最高となる合格率99.2%を達成した。合格率は毎年、全国平均(約2万人の受験者)を約20%も上回る好成績を継続し、全国8自動車短大の中でもトップクラス。今年もまた「広島の小短大」の存在を大いにアピールする結果となった。

この背景には、全員合格を目指して計画された講習会、特訓を含む習熟度別の勉強会を、学生と教員が一丸となって実施していることがある。

なお、これら講習会や勉強会を通じての学生と教員の密接な交流が、学生の高い満足度につながっていることはいうまでもない。卒業時に行なっているアンケートでも、講習会や勉強会に対し、「大変良い」もしくは「良い」という回答が、今年94%に上った。

### 実習設備紹介シリーズ①

#### 自動車走行性能診断装置

装置の制御からデータの処理および測定結果の診断・評価に至るまで、コンピュータによって処理する総合性能試験システムである。

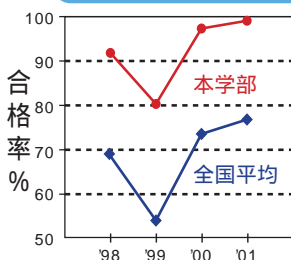
●測定内容

自動車の実走行状態を再現させ、走行中の出力特性および制動性能などの過渡現象を測定する。

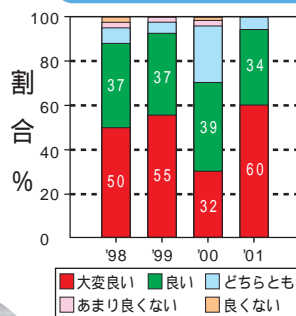
●測定項目

1. 高速ブレーキ・テスト
2. シャシ出力テスト
3. 加速テスト
4. 最大馬力試験
5. 点火負荷試験
6. 定地走行燃費試験
7. 10モード燃費試験
8. 高速モード燃費試験
9. 速度計試験

整備士国家試験の合格率



整備士講習会の感想



きめ細かな指導



誇れる設備

# 高校 から発信

## チョング - コMBC 国際ジュニアロード大会第3位

松下善紀君(3年)日本代表として出場



4月14日(土)~24(火) 韓国において「チョング-コMBC国際ジュニアロードサイクリングレース」が開催された。この大会に日本高体連は、日本代表チーム(6名)を派遣した。この一人として本校の松下善紀君(3年)が選出され出場した。大会は、9日間(9stage)のロードレースという過酷なものである。松下君の活躍はめざましく、日本チームは見事第3位に入りメダルを獲得した。



## 341名の新入生を迎えて

第55回入学式 盛大に挙行

4月9日(月) 新しい制服に身を包んだ新入生341名が校庭の花々に迎えられ、本校の門をくぐった。多数のご来賓の臨席のもと入学許可、式辞、新入生代表の力強い宣誓と、厳粛に盛大に入学式



「入学の誓い」新入生代表 柳楽 優さん

を行った。式終了後、吹奏楽部の歓迎演奏で会場は和やかな雰囲気につつまれた。新入生は各教室に入り、新しいスタートを切った。

4月22日(水)海田郵便局において、本校教諭長延公平先生が一日郵便局長に任命された。局長室での書類の決裁、職員に対しての訓辞、郵便業務の視察などを行った。



一日郵便局長に!  
野球部監督(長延公平教諭)  
●海田郵便局にて

## 平成13年度 PTA総会

去る5月12日(土)平成13年度のPTA

総会が開催された。例年のように、授業参観の後、体育館において総会行事を行い、終了後学級懇談会を実施した。総会においては、前年度の活動報告や決算報告、ならびに新年度役員の選出、予算案の審議が行われるとともに、慶弔規定の改定が提案承認され無事終了した。



## 工学部

### 共通基礎講座

佐々木 健 研究室

大学院物質工学生体材料講座 佐々木研究室は、博士課程3名、修士課程6名、学部生4名からなり、佐々木健教授、渡辺昌規講師と共に研究活動を行っている。

本研究室の特徴は、学科・学年の枠を超えた個性あふれるメンバー構成で、研究活動はもとよりキャンプなどの課外活動にも積極的に取り組んでおり、活気にあふれている。

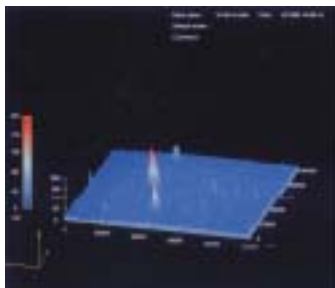
バイオテクノロジーを母体とした微生物培養技術や遺伝子工学技術を用いて、地域からグローバルな視野での環境保全技術の開発、並びに廃棄物からの有用物質生産技術の確立、応用について研究している。



# 研究室紹介

### (1) 磁気印加活性汚泥のMFMによる解析

本研究は、活性汚泥と呼ばれる生活廃水の汚れを分解する微生物群に対し、磁気を加えることにより、汚泥処理の省スペース化を試みている。それにより、廃水処理システムの省力化、並びに処理の効率化が期待される。



### (2) 廃パンからのパン酵母・エタノール生産

製パン時に大量に処分される廃パンを原料にして、燃料になり得るエタノール生産とアルコール発酵法を組み合わせたシステムの開発を行っている。



本研究は、(財)パン財団との共同研究の一環として進められている。

### (3) 海洋性光合成細菌による重金属回収

菌体表層に重金属を吸着するはたらきを利用して、海洋を汚染している有害な重金属(カドミウム、スズ、水銀)を環境中(水やヘドロ)から取り除く研究を行っている。

## 現代社会学部

池本良教 研究室



専門領域は地域研究で、目下の研究テーマは、主に農村地域をフィールドに、自由時間論・生活様式論・多面的活動論・協働論・旅論などを手がかりとした「地域と生活の社会化を通じた人間の発達」である。

講義では3・4年次の地域生活計画論と家族・地域問題論を担当。その他に2年次の社会学基礎ゼミナール、3年次の社会学演習

と社会調査実習を担当している。

研究室は、学部内で「家族とコミュニティ」コースの「環境とコミュニティ」という専門に属すが、「地域研究ゼミ」として、現在、3年生が地域若者文化論(「スケートボードと地域社会」など)や地域教育論(「地域スポーツと指導者」など)に取り組んでいる。2年生は初めてのゼミということで、現在は方法論を中心に進めている。ふだんは気にも留めない地域社会に関心を持ち、勉学・研究や進路・就職のために思考・行動範囲を広げられるようになってもらいたいと思っている。

今後は、社会に貢献し地域と協働する「ユニバーサル・デザインの大学」をモットーとする。学外向けに、一般市民(消費者)を対象として現代生活を考える「旅ゼミ」や「持続型・循環型社会ゼミ」を行う。また地域サポーターや農村ファンを対象として地域社会を考える「地域活性化ゼミ」・「NPOゼミ」など、世界を視野に入れながら、インターネット・ゼミとオープン・ゼミの形式で開講(共同研究)する予定である。



## 激動期の大学へ支援を!

### 大学後援会総会を開催

5月19日(土)現代社会学部の大講義室において、約120名の会員と大学教職員50名が出席して、大学後援会総会が開催された。

幸田会長、葉佐井学長、西本理事長のあいさつがあり、平成12年度の事業報告、会計報告があった。続いて平成13年度事業計画、予算を説明し審議承認された。役員の変更は、新しく副会長に寺田一博氏、幹事に倉本理恵氏を選出した。この後、95名の理事が承認され議事は終了した。

紀前学長と石川前副会長に、感謝状と記念品が贈呈され長年の労をねぎらった。その後、今村工学部長、新現代社会学部長から、学部の現状と教育方針等の説明があった。最後に会場を移して、各学部、学科ごとにチューターを囲んで熱心な懇談会が行われた。



熱心な懇談会



4月21日(土)午前10時から、恒例の後援会総会が、上瀬野キャンパス短期大学部校舎で開催された。

後援会側から、西山会長、浅野副会長、野崎幹事の三役を始め保護者23名が出席した。大学側からは、西本理事長、鶴総長、葉佐井学長、鈴木短期大学部長、関係職員が出席した。

平成12年度の決算報告と監査報告等がなされ、平成13年度の予算案、会則の一部改正、同細則の制定が審議承認された。会則の改正は「目的達成のための事業内容の項目がなかった」ので、第3条に新



新会長:浅野周秀明氏

### 新会長に浅野間氏

短期大学部後援会総会を開く

設した。また、「第3条の事業を援助するための細部規定がなかった」ので、慣例でやってきたことを細則として制定した。

引き続き役員改選があり、新会長に浅野間氏が、副会長に柴田氏が選出された。浅野間会長は、新役員の紹介の後、「微力ながら後援会の充実・発展に努める所存です」とあいさつされ、退任の西山前会長に記念品を贈呈された。

西山前会長が退任のあいさつで、「子供が無事卒業できたこと、そして、最大の難関である2級ガソリン自動車整備士国家試験にも合格できたことは、ひとえに先生方のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、子供を自動車短期大学部に入学させて良かった...」と涙ぐんで、お礼の言葉を述べられたのが印象的だった。



前会長への記念品贈呈



新会長による新役員の紹介

第45号訂正

・1ページ氏名ふりがな 「すずき ただあき」 「すずき これあき」

あれはいったい何だろう!?

# 「シャレオ」に本学がPR看板を掲出



4月11日(水)オープンした広島市紙屋町地下街「シャレオ」の中央広場に、「若人の目標がつかめる大学」として一新した本学が、PR看板を出した。  
「あれはいったい何だろう?」と考え込みそうなカタツムリ型の物体がユーモラスである。色鮮やかで楽しいデザインが、訪れる人の目を引きつける。



## 素晴らしき「書の寄贈」を受ける

理事長 西本五郎 記

一昨年、現代社会学部の開学にあたり、もと一東書道会理事であった故梅田牧子さんのすばらしい書の寄贈を受けた。今年9月完成予定の新しい学生会館にも、遺作の寄贈をされた。

「事業を成功に導き 善良な生活を楽しみ常に微笑をたたえ 人類を愛し 知識人の尊敬を集め 幼児たちに親しまれる人」

「その地位にふさわしく かつ精力的な仕事ぶりにより 一輪の花と心打つ詩と そして 麗しさを秘めた魂とによって よりよき社会をもたらす人」

ライオンと呼ばれる人の詩の一節である。梅田牧子さんの配偶者であり、清酒本州一醸造元の梅田義博氏と私は、過去39年間安芸ライオンズクラブの同志として親交がある。氏は右記の詩の如く社会奉仕に忠実な方である。二度にわたる遺作の寄贈を快くお引き受けくださり、3対の大型の書を学生会館のためにいただいた。感謝感激である。

学生会館が、学生相互の交流と親睦を図る憩いの場としての役割と共に、すばらしい芸術に触れることによって、豊かな情操を培う場としての効用をも果たしてくれることを期待している。

寄贈いただいた書と共に、芯の強さと優しさを持ち合わせた常に微笑をたたえておられた梅田牧子さんの略歴を紹介し感謝の誠を捧げる。

平成4年 読売書道展評議員

平成5年 一東書道会理事、日本書道院

二科審査員

平成9年 広島県書道振興会評議員

平成12年 逝去 享年67歳



「寄贈の書」新しい学生会館へ展示

工学部も高率94%  
就職率100%自動車短期大学部



高い企業評価 満足度の高い教育



2G国家資格の高い合格率  
深い人間教育

きめ細かい個人教育  
学生層に対応した教育

本学院の自動車短期大学部は、今年度も4月1日時点において就職率100%を達成した。就職を希望するすべての学生が、年度内に就職内定を得ている。これは他の短期大学には見られない高い水準である。また、工学部でも94%という高い就職率を達成した。

学生が、早い時期から進路を決めて「成長意欲と目標」を持って学び、「自分の納得できる就職」をするための、充実したさまざまな「就職支援体制」の成果である。

# 本学が独自テレビ番組を制作

## - 共生の社会を見つめて -



社会活動のすべてが激動期にある。自らが生きていく「現在」から「未来」を見据えるために、さまざまな諸課題について何をどうなすべきか。広島国際学院からテレビ放送を通して発信する。



### 放送局名

RCCテレビ(広島)

### 放送期間

平成13年6月3日(日)~平成13年11月25日(日)

### 放送時間

毎週日曜日 昼12時54分から(2分30秒)

### 番組名

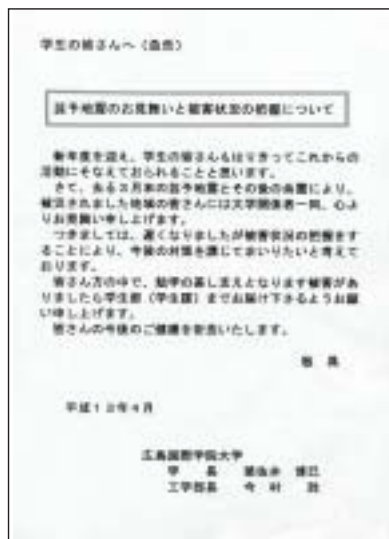
「特捜未来File 21」

### テーマ例

- ・テレビメディアはこれからどうなるか?
- ・ロボットは家族になれるか?
- ・家族の一員となれるロボットはつくれるか?
- ・デジタルとアナログってどう違うの?
- ・コンピュータって何?
- ・インターネットの不思議を解き明かす
- ・なぜ幼児虐待事件が起きるのか?
- ・非対面コミュニケーションが引き起こす問題
- ・流行は作られる!?
- ・ビジネスマンとフリーターの違い

3月24日(土)、瀬戸内海沿岸を中心に芸予地震が襲った。これにつき、大学として早速お見舞文を掲示するとともに、調査を実施した。その結果、全般的に生徒・学生宅の被害はこのほかに軽微で、勉学の支障はほとんど無かつたことが把握され、学長・校長以下一安心した。

## 芸予地震のお見舞と被害状況



3月24日(土)、瀬戸内海沿岸を中心に芸予地震が襲った。これにつき、大学として早速お見舞文を掲示するとともに、調査を実施した。その結果、全般的に生徒・学生宅の被害はこのほかに軽微で、勉学の支障はほとんど無かつたことが把握され、学長・校長以下一安心した。